

CNA Report Japan

Newsletter focused on
Collaborative conferencing

Conferencing News & Analysis-- Independent & Unbiased Perspective Since December, 1999

電話会議・テレビ会議・Web 会議専門ニュースレター Vol. 6. No. 15 2004 年 9 月 30 日号 毎月 15 日・月末発行

創刊 1999 年 12 月 8 日 発行/編集:橋本啓介 k@cna.jp Copyright 2004 Kay Office All rights reserved.

ニュースダイジェスト

■ ソニーマーケティング、新テレビ会議システム 2 機種 発表



PCS-G70N

ソニーマーケティング(東京都港区)は、PCSテレビ会議システムのシリーズに、新たに、ハイエンドタイプの「PCS-G70N」と、オールインワンタイプの「PCS-TL50」の 2 機種を発表し、10 月 15 日から国内販売を開始する。

「PCS-G70N」は、PCS シリーズでは、ハイエンド機種にあたり、本体コーデック部とカメラ部が分離したタイプ。特長としては、IP接続時の通信帯域が最大 4096kbps、ISDN 時が 768kbpsに対応。そして、H.264、H.263 4CIF ビデオフォーマットを採用することによりなめらかな高画質な映像に

そのほかでは、(1)IPとISDNが混在した多地点接続時における異速度通信機能、(2)2つのカメラからの映像やさまざまなビデオソースを組み合わせながら、同時に2つの映像の送受信が可能なデュアルビデオ配信、(3)メインモニターアウトに加え、5つのビデオアウトを装備し、各地点からの映像をそれぞれ独立したモニターに出力することが可能な5地点独立モニターアウト、(4)多地点接続時に参加者の地点名表示などが可能。などがある。

希望小売価格は、税抜き 150 万円。



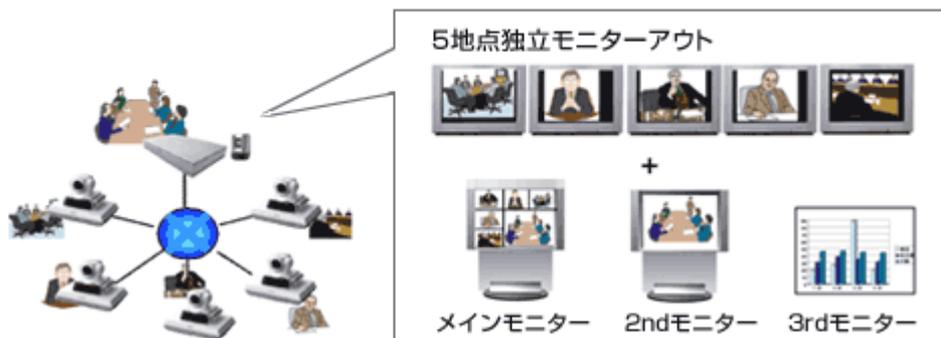
PCS-TL50

次に、「PCS-TL50」は、20 インチワイド液晶ディスプレイ、マイク、カメラなどが内蔵された一体型のデザインとなったタイプ。カメラ部は、1/3CCD、38 万ピクセルカメラを採用し、デジタル方式でパン・チルト・ズームが可能。すべての機能が操作可能なパネルリモコン。

通信帯域は、IP接続時が、1920kbps、ISDN 利用時が最大 768kbps。映像符号化方式は、H.264 やインター

レス SIP に対応。音声は、MPEG4AAC の音声符号化に対応し、14Khz のクリアで自然な高音質が実現。

そのほかでは、(1)より高い操作性をユーザーインターフェ



よるテレビ会議が行える。

音質については、多地点接続時においても MPEG4AAC の音声符号化に対応し、14Khz のクリアで自然な高音質が実現。

イスに持たせ、頻繁にアクセスする相手をトップ画面にサムネイル表示し、対応したパネルリモコンのボタンを押すだけで、アクセス可能。(2)単画面表示と2画面表示を行え、その切り替えが可能。たとえば、相手のパソコン画面と相手の映像など。(3)H.239 デュアルストリームに対応することにより映像とデータ画像を用いたテレビ会議が行える。データソリューションボックスのオプションをつけることによりパソコンデータは XGA で送れる。

希望小売価格は、税抜き 668,000 万円。

2機種の特長としては、(1)オプションの多地点接続用ソフトウェア (IP/ISDN それぞれ別のオプション品) を購入し親機1台にインストールすると、IP、ISDN それぞれ最大 6 地点まで接続が可能。2つの親機を用い、その親機間を、IP 接続を条件として最大 10 地点による、IP/ISDN 混在の同時接続が可能。(2)フレッツ ADSL、B フレッツに対応し、PPPoE をサポート。(3)帯域の制御などを行う自動レート制御機能、自動パケット再送機能を搭載。(4)映像、音声、パソコン画像のデータの暗号化。(5)メモリーステック対応のプライベートアドレス帳機能。

オプションとしては、データソリューションボックス、カメラユニット、ISDN用インターフェイス (384kbps/768kbps)、カメラスタンド、MCUソフト (IP/ISDN)、マイクロフォン、コミュニケーショントランスデューサー、SIP対応用ソフトなどがあり、機種によってオプションアイテムが変わる場合があるので確認要。また、SIP対応用ソフトは、11 月下旬発売予定となっている。

(関連記事:CNAリポート・ジャパン Vol.6 No.10 2004年 6 月 30 日)

■NEC システムテクノロジー、Web カンファレンスサーバーWX4.0 販売開始、2 年間で 100 システム導入実績

NEC システムテクノロジー (大阪市中央区) は、同社が販売する「Web カンファレンスサーバー」のバージョンアップを行い、「Web カンファレンスサーバーWX4.0」の販売を開始した。

「Web カンファレンスサーバーWX4.0」は、H.323 に対応している PC ベースのテレビ会議システム。今までの H.323 だけでなく SIP にも対応した。NEC SV7000 や Microsoft Live



Web カンファレンスサーバーWX4.0(ビデオ映像のみ)

Communications Server などに対応し IP 電話やインスタントメッセージ等の SIP 端末からでも会議に参加できるようになった。また、同時接続数は、最大 100 だったのが 150 まで拡大されより大規模な会議に対応、柔軟なシステム構築、カスタマイズが可能になった。

(次ページへ続く)

-----<AD>-----



アエスラ(Aethra Italy)
 電話会議・テレビ会議
 世界第 4 位のテレビ会議
 メーカー

<http://cnar.jp/aethra>

-----<AD>-----



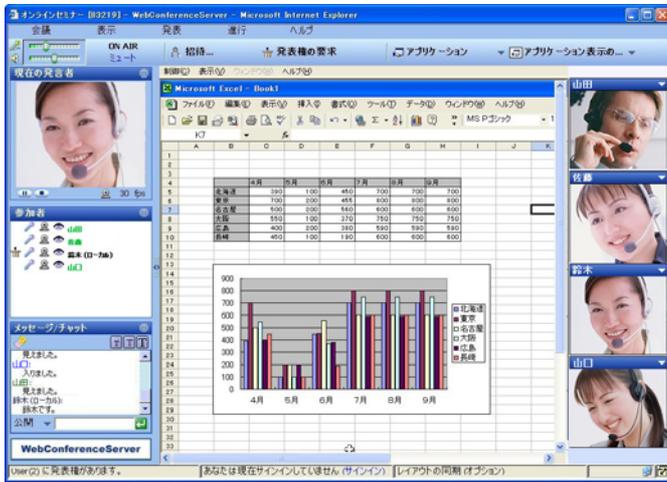
<広告>イスラエル VCON のテレビ会議製品情報 (日本語): 日本地方自治体等導入実績あり、PC タイプのテレビ会議システムからセットトップタイプのものから MXM メディアエクステンジサーバー、MCU、ストリーミング、開発ツールキットなど幅広いニーズに対応。テレビ会議メーカー、大手 5 社に入る。

H.323 対応 PC 用会議システム vPoint
<http://www.vcon.com>

-----<AD>-----

WX4.0 に追加された機能としては、(1)ファイヤーウォールや NAT に加えProxy越えが可能、(2)話者表示機能、(3)ユーザーインターフェイス機能の強化、(4)会議画面だけでなくサーバー側のカスタマイズに対応(予約関連業務やコールセンターでの適用など)、(5)会議室設定やコンタクトリスト、招待方法などユーザー機能の強化、などが今回のバージョンアップによる。

Web カンファレンスサーバーWX4.0 の基本機能としては、テレビ会議機能だけでなく、マイクロソフトワードやエクセル、パワーポイントなどを会議参加者に表示して遠隔のプレゼンテーションが行えるプレゼンテーション機能、Windows アプリケーションの共有、同時に書き込みなどができるホワイトボード機能、参加者の管理をする司会者機能、ファイル転送機能、テキストチャット、参加者へ会議の通知をメールで行うための招待機能(メールサーバーが別途必要)、会議への参加を制限するパスワード機能、さらに、会議内容の保存などが行えるストリーミングサーバーとの連携、ストリーミング配信もオプションで可能、などの機能を搭載している。



Web カンファレンスサーバーWX4.0(データ共有あり)

また、企業ネットワーク内に設置する際のファイヤーウォールや NAT の問題にも基本的に対応しているため導入が容易。

Web カンファレンスサーバーWX4.0 は、アプリケーションサーバーWX4.0 と、カンファレンスサーバーCS7.3 から構成され、前者はシステム全体を統合管理、後者は通信を制御

管理する機能を持つ。同時接続ユーザー数は、4、10、25、50、75、100、150。オプションとして4分割表示オプションに対応している。

Web カンファレンスサーバーWX4.0 の価格は、同時接続4ユーザーで144万5000円から。Web カンファレンスサーバー基本保守サービスは143,000円/年から。

Web カンファレンスサーバーは、2002年9月から販売開始しており、今まで約100システムの販売実績がある。意志決定の迅速化、人件費出張費などの経費削減、経営の効率化に貢献している。

NEC システムテクノロジーは、米ファーストバーチャルコミュニケーションズ(FVC)の日本国内 OEM パートナー。FVC 社は、H.323のテレビ会議に対応したClickToMeet 4.0を9月から出荷している。9月15日には、Web カンファレンスサーバーWX4.0のプレビューセミナーをFVC ジャパン(東京都港区)と都内で実施。

ショートニュース

◆米調査会社 Frost & Sullivan がまとめた「アジア太平洋のテレビ会議エンドポイント市場の戦略的考察」調査レポートによると、ポリコムは、日本、オーストラリア、中国、香港、インドなど太平洋地域13カ国のテレビ会議市場で第1位のベンダーで同地域では47.3%の市場シェアを獲得していると報告。日本のテレビ会議市場でもトップとなる60%の市場シェアを獲得。日立ハイテクノロジー(東京都港区)、大塚商会(東京都千代田区)、プリンストンテクノロジー(東京都千代田区)、日立電線(東京都千代田区)などが販売代理店。

◆ポリコムは Frost & Sullivan 社の「2004 マーケット・エンジニアリング・リーダーシップ・アワード」を受賞した。この賞は市場の課題や動向、制約の特定から戦略の開発と変化する市場への対応策まで市場エンジニアリングの全分野で優れた能力を発揮した企業に贈られる賞。

◆IP テレビ会議サービスプロバイダーである米 GlowPoint 社の顧客のひとつである米連邦政府の機関が IP テレビ会議サ

ービスの利用を拡大する。現在カリフォルニア州内で 20 カ所の事務所で事務所間ミーティングやトレーニングなどで利用されているが、これを IP テレビ会議無制限サービスプランに変更し、且つミッドウエスト地区の 13 事務所へも利用を拡大する。

◆米ポリコム、電話会議端末 Soundstation のワイヤレス版、「Soundstation2W」の北米市場での出荷を開始。以前の Soundstation の音声クオリティを向上させ、ワイヤレス用の無線は 2.4GhzWDCT を使うが音声は 64 ビット暗号化をかけセキュリティを確保。リチウムバッテリー駆動により、24 時間連続通話が可能。アナログ回線を接続するベースステーションと電話機との無線到達距離は、約 450m。ベースモデルが 699USD(約 78,000 円)、アップグレードモデル(拡張性やバッテリー時間がより長い等)、が 899USD。日本での販売は未確認。

◆e 会議電話会議サービスを提供する、ネットワーク(東京都中央区)は、クイックコールに議長権限として電話機から会議を制御することができる機能を追加することを発表。

◆アルカテル社は、米の eDial 社を 2700USD で買収し、会議系ソリューションの強化を図る。eDial 社は、マサチューセッツ州 Waltham にある会社で社員数は 30 名、約 100 社の企業やサービスプロバイダー系の顧客を持つ。eDial 社の強みは、SIP ベースの会議向けアプリケーションプラットフォームの開発力と、その技術に基づくリアルタイム系の会議システムやインスタントメッセージング、アプリケーション共有、プレゼンス機能などに関するソリューションを持つ。eDial の開発、販売、サポートチームはそのまま Waltham に残り、今後はアルカテル社の社員として今後も業務に従事する。

◆ドイツテレコムグループの T-Systems 社が、イスラエルのウェブ会議ソリューションを開発する AREL 社の製品をドイツ国内で販売することになった。AREL 社は、企業ミーティング用の Spotlight Meeting、遠隔教育向けの Spotlight Campus、講演用に最適化された Spotlight Webinar などの Spotlight ユニバーサル会議ソフトウェアソリューションを開発する。

◆アドバンスドソリューション(東京都豊島区)は、9月 27 日

PC会議システム「impression live ユニバーサル版」を発表。新たに開発した配信サーバーにより数百人を結んだテレビ会議を傍聴したり、グローバルIPアドレスが不要のためNAT環境などの影響を受けない。ホワイトボード機能、ファイル転送、テキストチャット機能、ビデオ録画機能、接続先アドレス帳機能などがある。Impression live v3 は、3種類のライセンス方式から選択。Impression live ライセンスは、3~10拠点程度でも利用できる導入時に拠点数分のライセンスのみを購入するタイプ、Impression live コンファレンスキットは同時使用可能なユーザー数でライセンスを購入するタイプ(スタンダード版とユニバーサル版)、Impression live ホスティングサービスは、コンファレンスキットと同様なライセンス内容を期間契約で利用する方法で最短契約期間は3ヶ月から。

◆ウェブ会議ソリューションを提供する米 Centra 社は、オンラインミーティングの管理やイベント運営サポートを専門とする企業、米 Maxwell グループと提携。提携内容としては、Centra のマネージド Web イベントサービス顧客に対して Maxwell グループがイベント実施における運営管理を一貫して対応するというもの。Maxwell グループは、4年以上も Centra のサービスを利用している企業で、毎月 200 以上ものウェブ会議セッションをプロデュースし運営している。Maxwell は、医療業界向けの「medconferece」を今まで手がけてきた。Centra の日本での代理店は、マクニカネットワークス(神奈川県横浜市)。

◆日立ソフト(東京都品川区)は、遠隔地とのデータ共有やプレゼンテーションが行える「デジタルボード」に、プラズマタイプの新機種「P61-XN/P-55XH」を開発し、先月 8 月から日本、欧州、北米、アジアのワールドワイドに販売する。旧製品とともに新機種でも電子ペンだけではなく指での操作にも対応、プラズマディスプレイ搭載のため高精細にパソコンの画面を表示できる。また、Picture In Picture 機能を使えばパソコン画面中にビデオ画像(テレビ会議システムの映像)を表示することが可能。日立ソフトは現在までにこのデジタルボードを累計3万台販売してきた。価格はオープン価格。販売目標当初1年間で、P-61XN を 1000 台、P-55XH を 2000 台計画。

◆米 Xten 社、SIP 対応のソフトフォン、「eyeBeam」を発表。電

話転送機能、相手番号表示 (CallerID)、10 カ所を接続した多地点会議機能。加えて、エコーキャンセレーション、ボイスアクティベーション機能、ジッターのバッファー機能、メッセージ着信表示機能なども搭載。SDK (eyeBeam SDK) も販売しカスタマイズも可能としている。Windows 版 (98SE/ME/NT4/2000/XP/CE)、MacOS X、ポケット PC に対応。Xten 社は、SIP ベースの VoIP、ビデオ OverIP などのソフトウェアやソフトフォンを開発している企業で、40 万台分の IP エンドポイントを販売している。

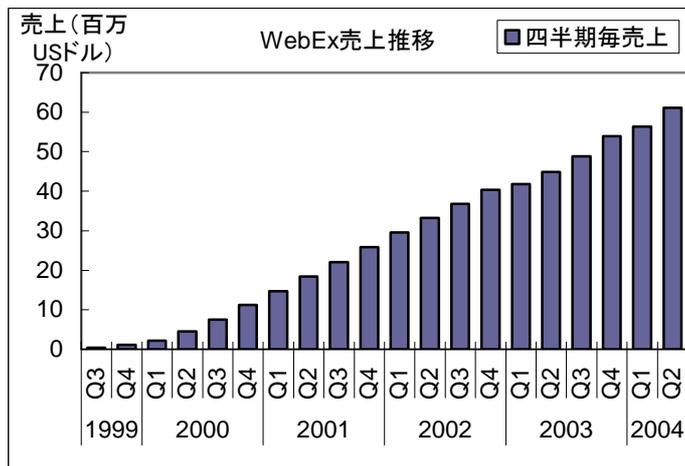
◆ 仏の電話会議、ウェブ会議、テレビ会議多地点接続サービス会社のジェネシス カンファレンシングが、「Genesys Meeting Center 3.0」をリリースした。「Genesys Meeting Center 3.0」によって、PC によるオンライン会議をより早くシンプルに開始することができる。会議は予約ベース、アドホックベースいずれにも対応。PC のデスクトップにミーティングランチャーをおいて 2 クリックで会議が開始できる。また、ユーザーインターフェイスの改良、マイクロソフトアウトルックに対応したスケジュール機能の強化、さらにオンラインミーティング中における SSL による暗号化などに対応。日本支社は、東京都港区にある。同社は、今年 3 月に日本市場に参入した世界で大手のプロバイダー。(CNA リポート・ジャパン Vol. 6 No. 5 2004 年 3 月 15 日号参照)

◆ イタリアのテレビ会議、電話会議メーカーアエストラ社は、3M 社のビジュアル・システムズ事業部と、ドイツにおけるマーケティング活動と戦略的な販売展開で協力する。3M 社の Wall Display シリーズ 9000 (日本 3M によると、「デジタルウォールディスプレイ」) の「3M Wall Display 9200IC」などとアエストラのテレビ会議システム、たとえば Vega Star Silver などとバンドルソリューションとして 3M のディーラーから販売する。今回のソリューションは、ドイツで開催される Photokina Koelnmesse exhibition (9 月 28 日から 10 月 3 日) において共同で出展する。

業績発表：第二四半期(2004年4月—6月)

Web 会議・会議サービス関連

■ WebEx



Web 会議サービスプロバイダーの米 WebEx 社の 2004 年第二四半期の売上は、6110 万 USD (約 67 億 2400 万円)。2003 年同四半期から 36% 売上増。

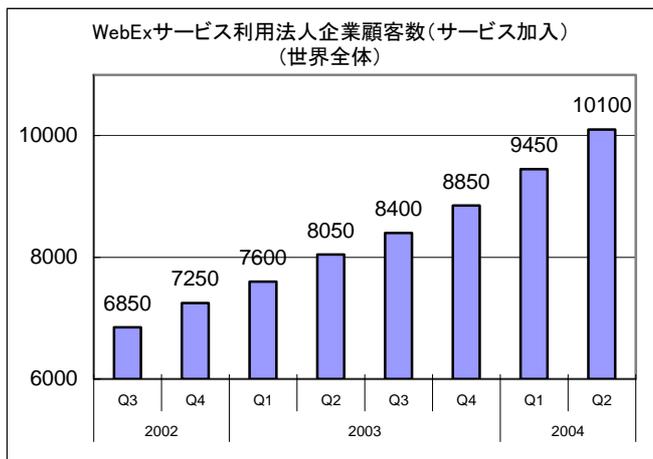
キャッシュフローはプラスで推移し、第二四半期の現預金等の残高は、1 億 6200 万 USD (約 178 億 3000 万円)

サービスは同社直接販売が主要な販売チャネルだが、全体の売上の 12% が通信サービス業者などのパートナーからとなっている。国際事業の割合は全体売上の 12%。いずれも増加傾向を見せている。国際事業では、ヨーロッパやインドの CyberBazaar 社の売上げが貢献。CyberBazaar 社は、WebEx 社が買収した会社。(CNA リポート・ジャパン Vol. 5 No. 22 2003 年 12 月 15 日)

利用法人顧客数は継続して拡大しており、第二四半期で 10,100 法人ユーザー顧客 (期間契約の固定客) を獲得している。

社員数は 1582 名に達し、約半数が米国外。インドの CyberBazaar 社の買収による増員などがあるが、今後“WebEx 社の国際化”をますます展開していく。セールス&マーケティング経費は、売上の 35% を投下する。

(次ページへ続く)

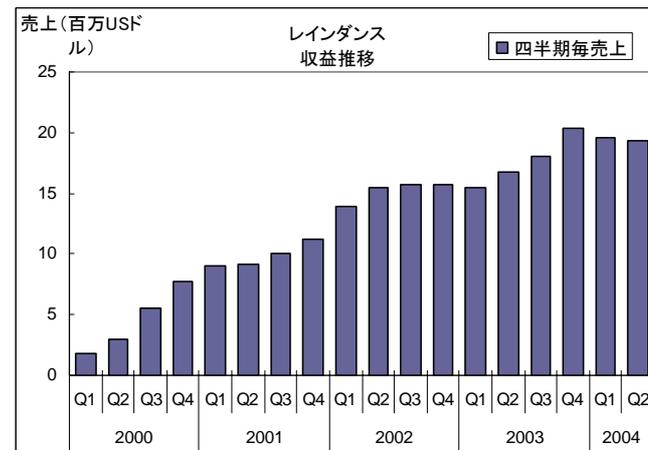


が起こっている。

現預金残高は、3040 万 USD (約 33 億 5000 万円)。第一四半期の 3490 万 USD (約 38 億 4000 万円) から減となっている。

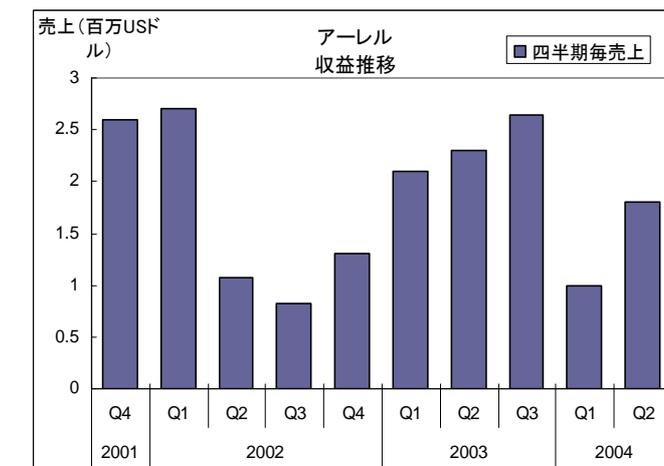
同社 CEO は現在が戦略的な移行期間で、ASP サービスからの売上が増加していることについて同社としては満足行く状況と分析。また、特にオーストラリアを中心にアジア太平洋地域の売上げが過去最大の売上げと顕著にビジネスが推移していると見る。

■ レインダンス



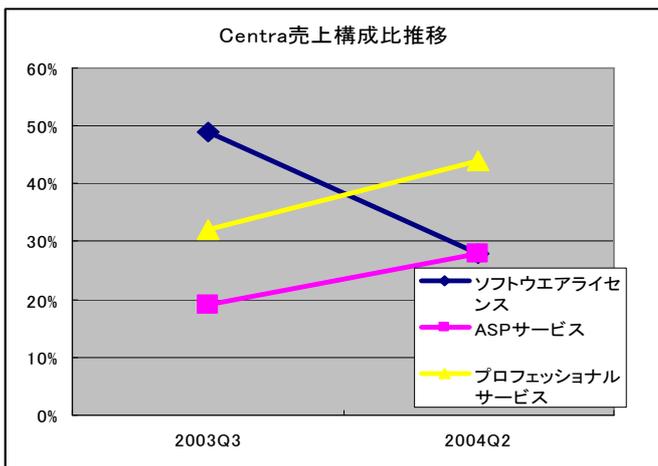
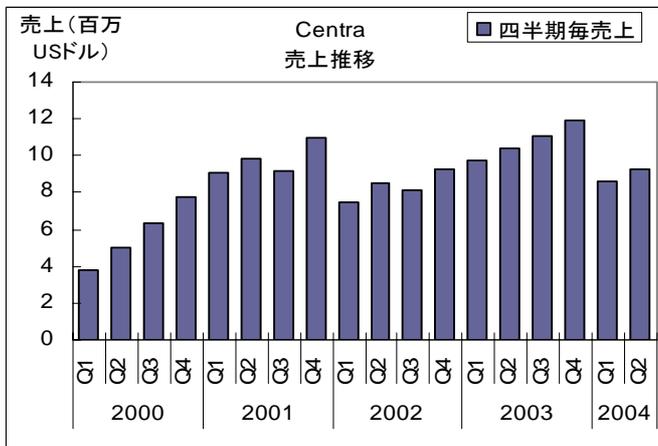
Web 会議サービスプロバイダー-Raindance の第二四半期の売上は、1930 万 USD (約 21 億 2600 万円) となり、前年 2003 年同四半期から 15% の売上増となったが、前年同期の 61 万 3000USD (約 6750 万円) の純益から、2004 年第二四半期は、190 万 USD (約 2 億 900 万円) の純損失となった。

■ AREL



ウェブ会議ソフトウェアを開発する、イスラエルのアーレル社の第二四半期の売上げは、180 万 USD (約 1 億 9800 万円)。

■ Centra

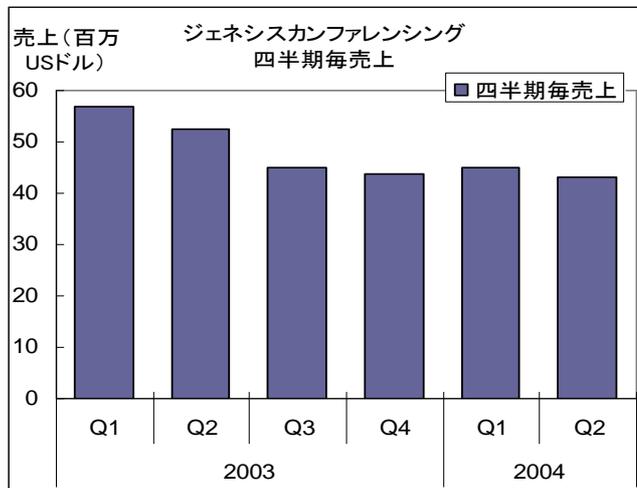


Centra 社の第二四半期の売上げは、930 万 USD (約 10 億 2450 万円)。第一四半期の 860 万 USD (約 9 億 4700 万円) から 7% の増。

2003 年の第三四半期から 2004 年の第二四半期の間、ソフトウェアライセンスビジネスから ASP サービスへのシフト

第一四半期の100万USD(約1億1000万円)からの増益。純損失は、98万USD(約1億70万円)。

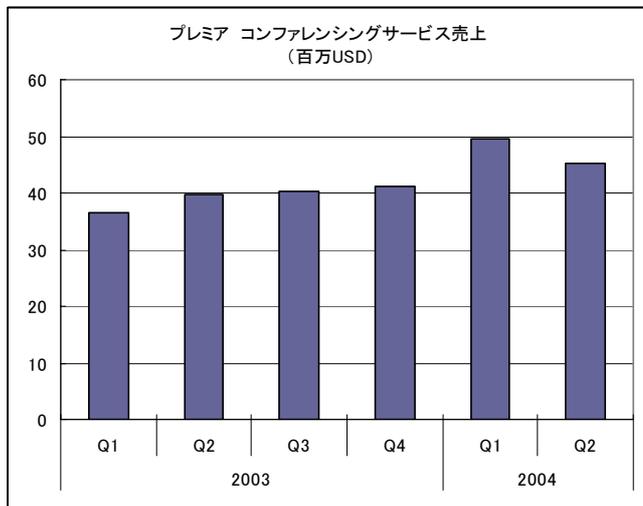
■ジェネシス カンファレンシング



第二四半期の会議サービス(グローバル)による売上げは、4300USD(約47億3300万円)。3億6110万時間分の会議サービスをこの四半期に提供した。昨年同期よりも6.6%増。

日本支社は、東京都港区にある。

■プレミア コンファレンシング



第二四半期の会議サービス(グローバル)による売上げは、4970万USD(約54億7200万円)で、前年同期比の25%増となった。4億6500万時間分の会議サービスを同四半期に提供。

日本法人は、東京都江東区にある。オペレータアシスト会議を行うと初回の会議録音料金、あるいは会議料金 20%割引引く案内が同社ウェブサイトに掲載されている。

イベント情報

国内

▶TV会議フォーラム(IPテレフォニーソリューション・フォーラム)

会期 : 10月13(水) - 14(木)

場所 : 目黒雅叙園

主催 : 日経 BP セミナー事業センター

詳細 : <http://ac.nikkeibp.co.jp/ncc/tv/>

基調講演「TV 会議市場の現状と今後の動向」: 野村総合研究所 情報通信コンサルティング 2 部 部長 上席コンサルタント 桑津 浩太郎 氏講演など。

▶ビジュアルコミュニケーションと最新の帯域制御ソリューションセミナー

～ギガビット対応 PacketShaper10000 と SIP-H.323 対応の最新の多地点テレビ会議システム～

会期 : 10月14日(木)13:00-17:00 受付 12:30

場所 : 東京コンファレンスセンター(飯田橋)

主催 : マクニカネットワークス株式会社

詳細 :

<http://www.macnica.net/packeteer/solutionseminar.html>

海外

▶PUG Conference 2004

日時 : 2004年10月9日(土) - 13日(水)

会 場 : Westin Innisbrook Golf Resort

主 催 : ポリコム・ユーザー・グループ

* ポリコムのユーザーカンファレンス & 展示

詳細 : <http://www.pug.com/>

▶Vietnam 2004 IT Week & COMPUTER EXPO 2004

日時 : 2003年10月14日(木) - 19日(火)

会 場 : ベトナム ハノイ Vietnam Exhibition Fair Center

主 催 : Vietnam Association for Information Processing (VAIP)

* ITC 関連の展示会

詳細 : <http://www.goldensvc.com/itweek2004/>

編集後記

次号のCNAリポート・ジャパンは、10月14日に発行予定ですが、14日よりVietnam 2004のため渡越します。関連情報があれば後日レポートします。場合によっては19日発行になる可能性もありますがその際にご容赦ください。

CNAリポート・ジャパン

編集長 橋本 啓介 k@cna.jp (CNA Report Vol.6.

No.15 2004年9月30日号終わり)次号 Vol.6. No.16は、2004年10月14日朝の発行を予定しております。ありがとうございます。